

策定年月日	R7.6.4
更新年月日	()
目標年度	令和16年度
市町村名 (市町村コード)	伊賀市 (242161)
地域名 (地域内農業集落名)	下柘植 (中出、上市場、物堂、南出)

注：「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域計画の区域の状況

区域内の農用地等面積（農業上の利用が行われる農用地等の区域）	120.33 h a
① 農業振興地域のうち農用地区域内の農地面積	74.61 h a
② 田の面積	70.74 h a
③ 畑の面積（果樹、茶等を含む）	3.00 h a
④ 区域内において、規模縮小などの意向のある農地面積の合計	h a
⑤ 区域内において、今後農業を担う者が引き受ける意向のある農地面積の合計	37.08 h a
(参考) 区域内における〇才以上の農業者の農地面積の合計	h a
うち後継者不在の農業者の農地面積の合計	h a
(備考)	

注1：①については、農業振興地域担当部局と調整の上、記載してください。

2：②及び③については、農業委員会の農地台帳の面積（現況地目）に基づき記載してください。

3：④については、規模縮小又は離農の意向のある農地面積を記載してください。

4：⑤については、区域内に特定することができない場合には、引き受ける意向のあるすべての農地面積を記載の上、備考欄にその旨記載してください。

5：（参考）の区域内における〇才以上の農業者の農地面積等については、できる限り記載するように努めてください。

(2) 地域農業の現状及び課題

・当地区では農業者の高齢化が進んでいるものの、地区内の担い手農家、農業生産組織は経営規模の拡大をめざしていることから、農地の受け手となり、今後も継続的に農地が維持される見通しである。しかし、地域内や地域外から担い手農家や農業生産組織の受け入れも含め、農地の維持を図っていく必要がある。
・獣害対策

(3) 地域における農業の将来の在り方（作物の生産や栽培方法については、必須記載事項）

・当地区の栽培品目は次のとおりである。 (主要な栽培品目は、水稻（麦・大豆）である。)
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、より効率的に農作業を行えるよう農地の集積・集約化を進める必要がある。
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、生産体制の最適化を図るため、スマート農業の導入を進める必要がある。
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、より効率的に農作業を行えるよう農地の大区画化を検討していく必要がある。
・担い手経営体が規模拡大を進めるにあたり、より効率的に農作業を行えるよう農道の拡幅や高機能水路への改修を検討していく必要がある。
・環境への負荷をできるかぎり減らしながら持続的な農業を進めていくため、有機農業への取り組みを検討していく必要がある。
・ラジコン草刈機を有志による出資金で購入。補助金が減額されていく状況の中で、返済を早く済ませるため、他の近隣中山間地域への貸出し等を検討。
・トラクター、田植機に後付け自動操舵装置を取付け、効率化を図る。
・灌漑ポンプによる地中内給水配管の老朽化、水漏れの手だて。

2 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用に関する目標

(1) 農用地の効率的かつ総合的な利用に関する方針			
・担い手農家への農地集積・集約化を基本とする。			
(2) 担い手（効率的かつ安定的な経営を営む者）に対する農用地の集積に関する目標			
現状の集積率	33.4	%	将来の目標とする集積率
			30.8
			%
(3) 農用地の集団化（集約化）に関する目標			
・農地中間管理事業を活用しつつ、団地数の削減及び団地面積の拡大を図る。			

3 農業者及び区域内の関係者が2の目標を達成するためとるべき必要な措置

(1) 農用地の集積、集団化の取組
・農地中間管理機構を通じて、担い手農家へ農地の集積及び団地化を進める。
(2) 農地中間管理機構の活用方法
・担い手農家の意向を把握し、できる限り団地化が図られるよう農地中間管理機構を活用して集積・集約を進める。
(3) 基盤整備事業への取組
・農地中間管理機構関連農地整備事業等を活用し、農地の大区画化・汎用化等のための基盤整備を令和10年度までに実施する。
・地区内の既存の農道は狭く、ほ場近くに駐車することが困難であり農作業に支障をきたしているため、拡幅に向けて事業化を検討する。
・既存の用排水路は老朽化が進み、メンテナンスに苦慮していることから、より機能性の高い水路への更新を検討する。
(4) 多様な経営体の確保・育成の取組
・市やＪＡとも連携し、地域内外から多様な経営体を受け入れ、地域に定着できるよう農地のあっせんや栽培技術等の支援を行う。
(5) 農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の取組
・ラジコンヘリ、ドローン等を使用した農薬・肥料散布
・マニアスプレッダー等を使用した堆肥散布
・ライスセンター等の乾燥調整施設の利用

以下任意記載事項（地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組内容を記載してください）

☒ ①鳥獣被害防止対策	☒ ②有機・減農薬・減肥料	☒ ③スマート農	☐ ④畑地化・輸出等	☐ ⑤果樹等
☐ ⑥燃料・資源作物等	☒ ⑦保全・管理等	☒ ⑧農業用施設	☒ ⑨耕畜連携等	☒ ⑩その他

【選択した上記の取組内容】

- ①捕獲人材の確保、防護柵の設置・修理
- ②有機・減農薬、減肥料の取組み
- ③AI、ドローン、中山間等の交付を活用、水路等の整備、後付け自動操舵装置、ラジコン草刈り機の活用（当該地域と他の中山間地域）
- ⑦多面的、中山間等の交付金を活用（水路等の整備）
- ⑧農業用施設の譲渡、新設、移設
- ⑨畜産農家の家畜糞堆肥と稲藁との交換
- ⑩営農組合員の拡大

4 地域内の農業を担う者一覧（目標地図に位置付ける者） ※各集落ごとにアルファベットを振っており、同じアルファベットであっても同一人物とは限りません。

属性	農業を担う者 (氏名・名称)	現状				10年後 (目標年度：令和 16 年度)							
		経営作目等	経営面積	作業受託面 積		経営作目等	経営面積	作業受託面 積	目標地図上 の表示	備考			
認農	農業者A	水稻、なたね	1.384	ha	0.000	ha	水稻、なたね	1.384	ha	0.000	ha	1	中出
認農	農業者B	水稻	1.422	ha	0.000	ha	水稻	1.422	ha	0.000	ha	2	中出
集	集落営農C	水稻	2.535	ha	0.000	ha	水稻	3.112	ha	0.000	ha	3	中出
利用者	農業者D	水稻	1.470	ha	0.000	ha	水稻	1.470	ha	0.000	ha	4	中出
利用者	農業者E	水稻	0.274	ha	0.000	ha	水稻	0.274	ha	0.000	ha	5	中出
利用者	農業者F	水稻	0.358	ha	0.000	ha	水稻	0.358	ha	0.000	ha	8	中出
利用者	農業者G	水稻	0.268	ha	0.000	ha	水稻	0.268	ha	0.000	ha	9	中出
利用者	農業者H	水稻	0.210	ha	0.000	ha	水稻	0.210	ha	0.000	ha	10	中出
認農	農業者I	水稻	0.380	ha	0.000	ha	水稻	0.380	ha	0.000	ha	17	中出
利用者	農業者J	水稻	0.495	ha	0.000	ha	水稻	0.495	ha	0.000	ha	18	中出
利用者	農業者K	水稻	0.073	ha	0.000	ha	水稻	0.073	ha	0.000	ha	19	中出
利用者	農業者L	水稻	0.114	ha	0.000	ha	水稻	0.114	ha	0.000	ha	20	中出
利用者	農業者M	水稻	0.216	ha	0.000	ha	水稻	0.216	ha	0.000	ha	21	中出
				ha		ha			ha		ha		
利用者	農業者A	水稻	3.665	ha	0.000	ha	水稻	3.665	ha	0.000	ha		上市場
利用者	農業者B	水稻	1.249	ha	0.400	ha	水稻	1.338	ha	0.448	ha		上市場
認農	農業者C	水稻	0.000	ha	1.132	ha	水稻	0.000	ha	1.132	ha		上市場
認農	集落営農D	水稻	0.000	ha	0.161	ha	水稻	0.000	ha	0.161	ha		上市場
認就	農業者E	水稻	0.000	ha	1.023	ha	水稻	0.000	ha	1.023	ha		上市場
利用者	農業者I	水稻	1.011	ha	0.000	ha	水稻	0.000	ha	0.000	ha		上市場

利用者	農業者J	水稻	0.586 ha	0.000 ha	水稻	0.000 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者F	水稻	0.639 ha	0.000 ha	水稻	0.639 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者K	水稻	1.029 ha	0.000 ha	水稻	0.000 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者G	水稻	0.295 ha	0.000 ha	水稻	0.295 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者L	水稻	0.183 ha	0.000 ha	水稻	0.000 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者H	水稻	0.618 ha	0.000 ha	水稻	0.618 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者M	水稻	0.206 ha	0.000 ha	水稻	0.000 ha	0.000 ha		上市場
利用者	農業者N	水稻	0.750 ha	0.000 ha	水稻	0.000 ha	0.000 ha		上市場
			ha	ha		ha	ha		
認農	農業者A	水稻	4.200 ha	0.000 ha	水稻	4.200 ha	0.000 ha	1	物堂
利用者	農業者B	水稻	1.600 ha	0.000 ha	水稻	1.600 ha	0.000 ha	2	物堂
利用者	農業者C	水稻	0.500 ha	0.000 ha	水稻	0.500 ha	0.000 ha	3	物堂
利用者	農業者D	水稻	0.400 ha	0.000 ha	水稻	0.400 ha	0.000 ha	4	物堂
利用者	農業者E	水稻	0.700 ha	0.000 ha	水稻	0.700 ha	0.000 ha	5	物堂
利用者	農業者F	水稻	0.600 ha	0.000 ha	水稻	0.600 ha	0.000 ha	6	物堂
利用者	農業者G	水稻	0.200 ha	0.000 ha	水稻	0.200 ha	0.000 ha	7	物堂
利用者	農業者H	水稻	0.400 ha	0.000 ha	水稻	0.400 ha	0.000 ha	8	物堂
利用者	農業者I	水稻	0.200 ha	0.000 ha	水稻	0.200 ha	0.000 ha	9	物堂
			ha	ha		ha	ha		
利用者	農業者A	水稻	0.540 ha	0.000 ha	水稻	0.540 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者B	水稻	0.440 ha	0.000 ha	水稻	0.440 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者C	水稻	1.540 ha	0.000 ha	水稻	1.540 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者D	水稻	0.840 ha	0.000 ha	水稻	0.840 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者F	水稻	1.610 ha	0.000 ha	水稻	1.610 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者E	水稻	0.620 ha	0.000 ha	水稻	0.620 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者F	水稻	0.420 ha	0.000 ha	水稻	0.420 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者G	水稻	0.390 ha	0.000 ha	水稻	0.390 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者H	水稻	0.190 ha	0.000 ha	水稻	0.190 ha	0.000 ha		南出
認農	農業者I	水稻	1.750 ha	0.000 ha	水稻	1.750 ha	0.000 ha		南出
利用者	農業者J	水稻	0.220 ha	0.000 ha	水稻	0.220 ha	0.000 ha	○	南出
利用者	農業者K	水稻	0.630 ha	0.000 ha	水稻	0.630 ha	0.000 ha		南出
計	51経営体		37.419 ha	2.716 ha		34.321 ha	2.764 ha		

注1：「属性」欄には、認定農業は「認農」、認定新規就農者は「認就」、法人化を行うことが確実であると市町村が判断する
集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」、農業協同組合は「農協」、農業支援サービス事業者（農協を除く）は
「サ」、上記に該当しない農用地等を継続的に利用する者は「利用者」の属性を記載してください。

2：「経営面積」「作業受託面積」欄には、地域計画の対象地域内における農業を担う者の経営面積、作業受託面積
を記載してください。

3：農業を担う者に位置付ける場合は、できる限りその者から同意を得ていること。

4：作業受託面積には、基幹3作業の実面積を記載してください。なお特定農作業受託面積は、作業受託面積に含めず、
経営面積に含めてください。

5 農業支援サービス事業者一覧（任意記載事項）

番号	事業体名 (氏名・名称)	作業内容	対象品目

6 目標地図（別添のとおり）